

クリタ株主通信

株主の皆様へ

2015年3月期 第2四半期

2014.4.1 ~ 9.30

【目次】

企業理念・企業ビジョン・クリタの特長	1
2015年3月期 第2四半期 決算ハイライト	2
トップインタビュー	3
クリタ教室	5
2015年3月期 第2四半期 連結業績のご報告	7
トピックス	9
会社情報・株式情報	10
株主インフォメーション	11

“水”を究め、自然と人間が 調和した 豊かな環境を創造する

水の本質を深く、広く追究することによって、
水の新しい機能、価値を生み出し、
限りある水を最大限有効活用することにより、
社会に貢献していきます。

水と環境の 先進的マネジメント企業

クリタグループは
「水のマネジメント」をさらに進化させ、
限られた水資源を有効活用する
「先進的マネジメント」の実現をめざします。

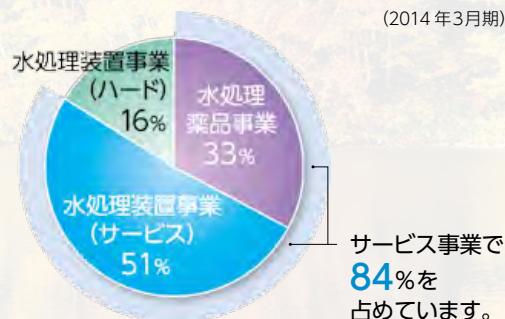
クリタの特長

■ 「水と環境」の分野において、3つの機能を
バランスよく併せ持つのはクリタだけです。



■ 収益性が高く安定的なサービス事業の比率が
80%以上を占めています。

(2014年3月期)



■ 安定配当の継続を基本方針とし、
配当の増額に努めています。

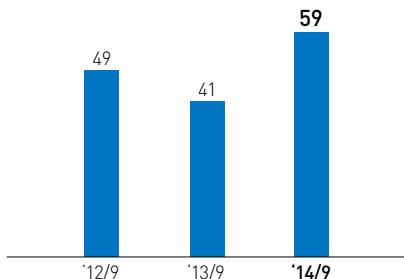
■ 1株当たり配当金（年間）の推移



連結業績等

※グラフの金額は億円未満を四捨五入して表示しています。

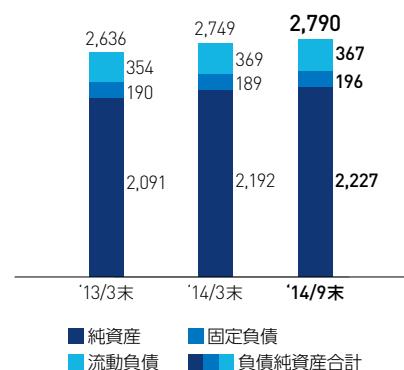
四半期純利益 (億円)



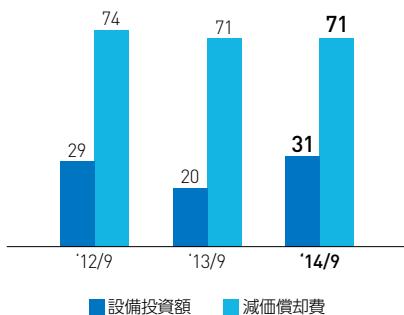
資産 (億円)



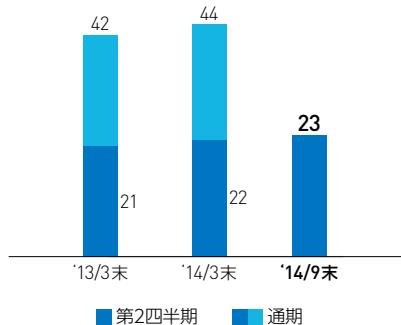
負債・純資産 (億円)



設備投資額・減価償却費 (億円)



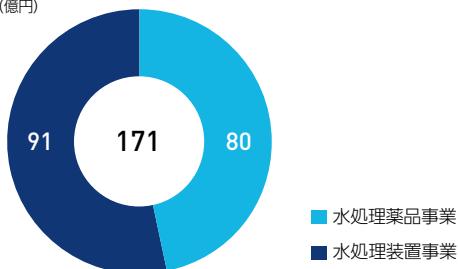
1株当たり配当金 (円)



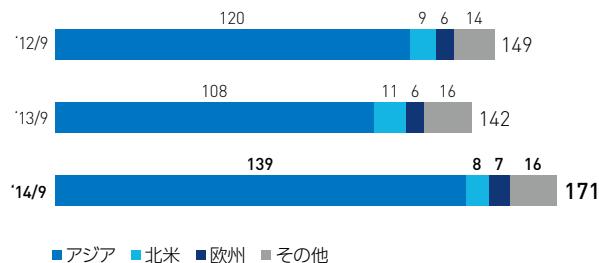
海外事業 (事業別・地域別売上高)

※グラフの金額は億円未満を四捨五入して表示しています。

事業別 (億円)



地域別 (億円)



株主の皆様には
平素より格別のご高配を賜り
厚くお礼申しあげます。
2015年3月期 第2四半期の
事業概況などに関する
株主の皆様のご質問にお答えいたします。



代表取締役社長
中井 稔之

Q1 | 2015年3月期 第2四半期の 連結業績に対する評価を聞かせてください。

当第2四半期の事業環境は、国内では緩やかな景気回復基調が続いたものの、消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響により、製造業の生産など一部に弱さが見られました。海外では、アジアの景気は鈍化傾向が見られたものの、継続的に拡大しました。このような中、当社グループは「水処理薬品」「水処理装置」「メンテナンス・サービス」といった事業を併せ持つ総合力を活かし、付加価値の高い課題解決の提案に努めました。

この結果、水処理薬品事業については、国内では主要なお客様である製造業の操業度低迷の影響を受け減収となりましたが、海外では新規開拓が進捗し伸長しました。また、水処理装置事業は、国内外において水処理需要を着実に捉えることで増収となるとともに、課題である収益性の改善が進み大幅な増益となりました。

連結業績ハイライト (億円) ※金額は億円未満を四捨五入して表示しています。

	当第2四半期 2014年4月1日～ 2014年9月30日	前年同期比	前第2四半期 2013年4月1日～ 2013年9月30日
受注高	970	8.1%増	897
売上高	890	7.5%増	828
営業利益	86	28.9%増	67
経常利益	92	28.4%増	72
四半期純利益	59	43.4%増	41
1株当たり配当金	23円	1円増	22円

Q2 | 今期(2015年3月期)の見通しについて聞かせてください。

国内では、消費増税の影響が減衰することによる製造業の操業度回復や、企業収益の改善を背景に老朽化対策を中心とした設備投資の増加が期待されます。また、東アジア・東南アジア地域の経済は、成長ペースに鈍化の懸念はあるものの拡大基調は維持されると思われ、生産拠点の拡張に伴う水処理需要の増大は継続すると期待しています。

これらのことから今期は、特に海外での水処理薬品の伸長や、国内におけるメンテナンス需要の回復を見込んでいます。このような中、当社グループは、国や地域ごとのニーズに合った商品・サービスの提案を強化することにより競合との差別化を図り、収益の拡大に努めていきます。

Q3 | 現在、グループが推進している主な取り組みについて聞かせてください。

当社グループは現在、低下した収益力の早期回復と同時に、将来を見据えたグローバル事業の拡大に取り組んでいます。

まず、収益力の回復については、前期に大きく収益性を低下させた水処理装置事業において、営業部門と生産部門の連携の強化により原価率の低減と追加コストの発生防止に努めています。また、水処理装置の規格化・標準化によるコスト削減や、海外装置生産におけるパートナー企業の発掘や育成を図っています。さらに、商品・サービスの付加価値の向上による収益性向上にも取り組んでおり、水処理薬品事業における「S.sensing®」や水処理装置事業における「K-ecoメンテナンス・サービス」といった、リアルタイムでお客様と水質データを共有し最適な課題解決を図るサービスの展開を強化しています。

グローバル事業の拡大については、アジア地域では域内の経営の最適化やナショナルスタッフの育成を通じた現地化による自力成長をめざす一方、欧米地域の水処理薬品事業については、これまでM&Aによる事業拡大の道を模索してきました。そして、このたびドイツのBK Giulini 社より水処理薬品事業、紙プロセス薬品事業およびアルミナ化合物事業を譲り受ける契約を締結しました。この買収の対象事業は、当社グループと技術・商品ラインナップ上の補完性も高いことに加え、それらの融合により新たな製品・サービスの開発が可能になると見込んでいます。今回の買収で、当社グループの水処理薬品事業に欧州地域での幅広い顧客基盤が加わることで、グローバル事業の中長期的な拡大が期待できます。なお、この買収は、独占禁止法の審査などを経て、2014年末までの完了をめざしています。

Q4 | 株主還元について聞かせてください。

当社は、手元資金の使途として成長事業への投資を最優先事項に掲げており、前述した買収もその方針に沿ったものです。同時に配当政策については、安定配当の継続を基本方針としながら、これら事業への投資を勘案の上、配当の増額に努めています。当期の中間配当については、業績の回復を見込む中、株主の皆様のご期待にお応えするため前年同期比1円増の1株当たり23円とさせていただきます。今後も配当金の増額ならびに、株主価値の向上をめざし資本効率の向上に努めていきます。

株主の皆様には、今後もより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2014年11月

クリタ教室

クリタの成長を支える事業や技術について、
わかりやすく解説していきます。



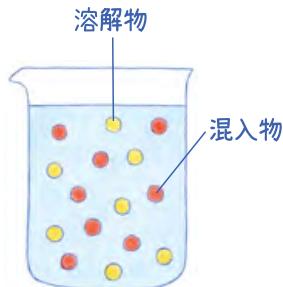
ボイラの水処理イメージ

薬品処理していないと…

薬品処理したら…



肉眼ではわかりませんが、
成分を調べると水以外に
いろいろなものが
混じっています。



不純物を取り除くのが

「水処理」

水道水・工業用水・排水



クリタは水処理を行う会社ですが、
水処理とは何ですか？



見た目にはきれいで透明な水でも、カルシウムやマグネシウムなどのミネラル成分、微生物、有機物質、気体、ゴミ・ホコリなど、さまざまな不純物が含まれています。水処理とは、水からこれらの不純物を取り除き、使用目的に合わせた水質にしたり、水を自然に還す際に環境への負荷を少なくすることです。また、一度、使用した水を再利用できるようにするのも水処理の大切な役割です。

近年、世界規模で水の汚染や水不足の問題が取り上げられており、水をきれいにし、再利用を可能にする水処理は非常に注目されています。水処理には大きく分けて、薬品を使用した処理と、装置を使用した処理があります。



薬品を使用した水処理とは
どのようなものですか？



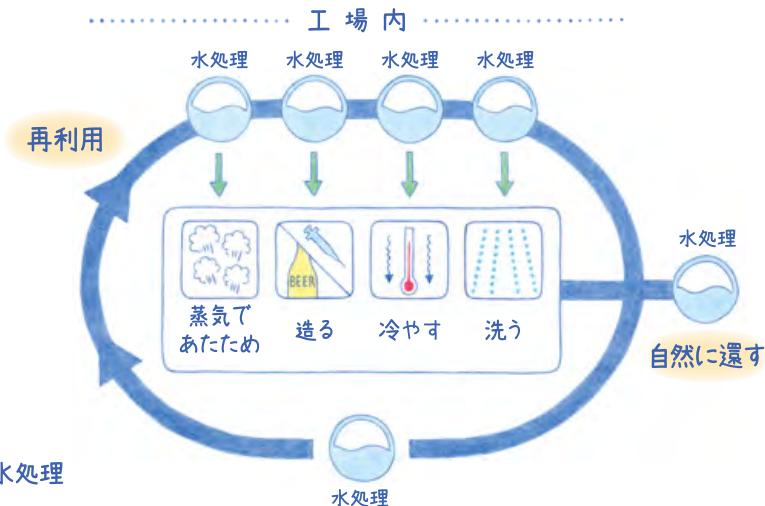
工場やオフィスビルなどには、ボイラや冷却塔といった設備がありますが、それらに使用されている水に何も処理を施さないと、水分中のカルシウムなどが付着して配管内にスケール（P.9のトピックスご参照）、いわゆる水垢としてこびりついてしまい、破損したり、運転効率が悪くなるなど設備の稼働に悪影響を及ぼします。そこで、水処理薬品で水質をコントロールすることにより、そのようなトラブルを未然に防いだり、発生したトラブルを解決します。

用水処理のイメージ



目的に合った水にするため膜や樹脂を使って水を造る水処理

工場の入口から出口まで至る所で



Q 装置を使用した水処理とはどのようなものですか？

A 用途に合った水を造る**用水処理**や、使われた水を自然に還す際に必要な**排水処理**などがあります。**用水処理**は、膜や樹脂などを利用し、ろ過や吸着の技術で水に含まれる不純物を除去することで、半導体製造に必要な超純水や、医薬用の精製水など、**さまざまな用途に応じた水を造ります**。**排水処理**は、薬品を利用した凝集処理技術、微生物を利用した生物処理技術などにより、排水から不純物を取り除き、放流したときに**環境に影響を与えないように**します。

そのほか、使用した水を回収して再利用する**排水回収技術**も、**貴重な水資源を有効に活用する技術**として注目されています。

Q クリタの水処理は、どのように社会に役立っていますか？

A クリタの水処理は、例えば工場であれば**入口から出口まで至る所で活躍**しており、お客様の**工場や設備が安全かつ安定して稼働**するよう、広く貢献しています。さらにクリタグループは、**「水処理薬品・水処理装置・メンテナンス」**の機能を併せ持つ特長を活かし、**これらを融合した総合的な提案**によって、お客様の事業活動にとって重要な**「生産性向上」「環境負荷低減」「創エネルギー」**といった課題を解決しています。「水」を究め、自然と人間が調和した豊かな環境を創造する」という企業理念に基づき、持続可能な社会の実現に向けて、これからもグループ全体で取り組んでいきます。

セグメント別ハイライト

水処理薬品事業	受注高	297億円 (前年同期比 1.4% 増)
	売上高	293億円 (同 1.9% 増)
	営業利益	41億円 (同 7.5% 減)

受注高・売上高については、国内では、顧客工場の操業度低下などの影響により主力のボイラ薬品、冷却水薬品、排水処理薬品が減少しましたが、紙・パルプ向けプロセス薬品が増加しました。



海外では、東南アジアや中国を中心に新規顧客の開拓が進んだことにより、主にボイラ薬品、排水処理薬品、石油精製・石油化学向けプロセス薬品の受注高・売上高が増加しました。

この結果、このセグメントの受注高は前年同期比1.4%増、売上高は同1.9%増となりました。

営業利益については、国内における主力商品の減収などによる原価率の悪化や、海外事業の体制強化のための販売費及び一般管理費の増加により、同7.5%減となりました。

水処理装置事業	受注高	672億円 (前年同期比 11.3% 増)
	売上高	596億円 (同 10.5% 増)
	営業利益	45億円 (同 99.4% 増)

受注高・売上高については、国内では、堅調な電子部品需要や顧客の収益改善を背景にメンテナンス・サービスが増加し、超純水供給事業は概ね横ばいとなりました。一方、電子産業分野においては工場の新設・増設案件が一部に限られ、水処理装置の受注高は減少しました。また、一般産業分野では、電力向けの水処理装置が受注高・売上高ともに増加しました。

海外では、中国や台湾における大型案件を中心に受注高・売上高が増加し、セグメント全体としては、増収となりました。

この結果、このセグメントの受注高は前年同期比11.3%

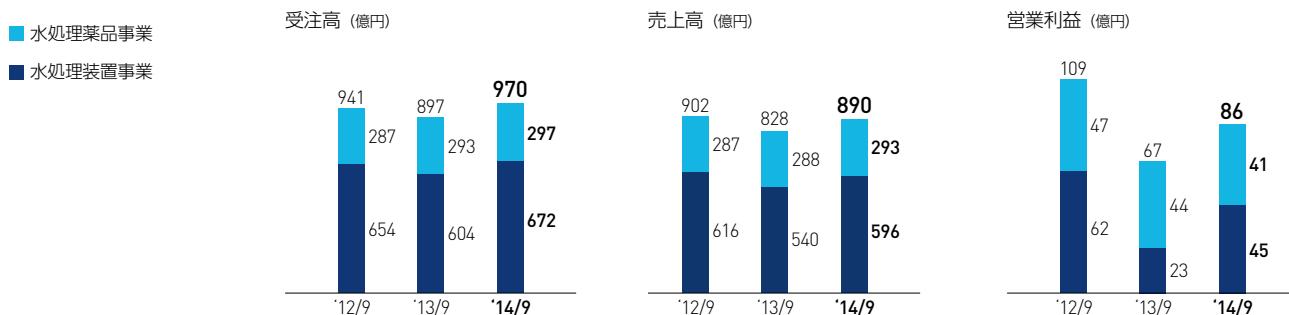


増、売上高は同10.5%増となりました。

営業利益については、増収効果や原価率の改善により、同99.4%増となりました。

セグメント別業績の推移

※金額は億円未満を四捨五入して表示しています。



四半期連結貸借対照表 (要旨) (単位: 億円)

	当第2四半期 (2014年9月30日現在)	前第2四半期 (2013年9月30日現在)	前期 (2014年3月31日現在)
【資産の部】			
流動資産	1,685	1,517	1,625
現金及び預金	499	418	473
受取手形	69	72	73
売掛金	490	473	505
有価証券	510	440	480
たな卸資産	77	74	58
その他	39	39	36
固定資産	1,105	1,143	1,124
有形固定資産	738	819	779
建物(純額)	192	220	208
機械及び装置(純額)	304	365	328
その他(純額)	242	234	243
無形固定資産	15	16	16
投資その他の資産	352	308	330
資産合計	2,790	2,660	2,749

	当第2四半期 (2014年9月30日現在)	前第2四半期 (2013年9月30日現在)	前期 (2014年3月31日現在)
【負債の部】			
流動負債	367	325	369
支払手形	17	16	19
買掛金	170	145	170
その他	180	164	180
固定負債	196	190	189
退職給付引当金	—	111	—
退職給付に係る負債	123	—	114
その他	73	79	75
負債合計	563	515	558
【純資産の部】			
株主資本	2,123	2,074	2,100
その他の包括利益累計額	93	58	77
少数株主持分	10	13	15
純資産合計	2,227	2,145	2,192
負債純資産合計	2,790	2,660	2,749

四半期連結損益計算書 (要旨) (単位: 億円)

	当第2四半期 (2014年4月1日~ 2014年9月30日)	前第2四半期 (2013年4月1日~ 2013年9月30日)	前期 (2013年4月1日~ 2014年3月31日)
売上高	890	828	1,781
売上原価	605	560	1,229
売上総利益	284	267	553
販売費及び一般管理費	198	200	404
営業利益	86	67	149
営業外収益	7	5	14
営業外費用	1	1	2
経常利益	92	72	161
特別損失	—	5	7
税金等調整前四半期(当期) 純利益	92	67	154
法人税等	33	25	59
少数株主利益 又は少数株主損失(△)	△0	0	1
四半期(当期)純利益	59	41	94

※金額は億円未満を四捨五入して表示しています。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位: 億円)

	当第2四半期 (2014年4月1日~ 2014年9月30日)	前第2四半期 (2013年4月1日~ 2013年9月30日)	前期 (2013年4月1日~ 2014年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	125	144	297
投資活動による キャッシュ・フロー	△215	△176	△167
財務活動による キャッシュ・フロー	△34	△28	△60
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△1	4	7
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△125	△55	77
現金及び現金同等物の 期首残高	410	333	333
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	285	278	410

詳細は当社ホームページでご確認ください。

URL <http://ir.kurita.co.jp/>

栗田工業 IR

検索

「担体嫌気処理プロセス（バイオセーバー® TK）」が第40回優秀環境装置表彰事業において「経済産業大臣賞」を受賞

嫌気性微生物を付着させた樹脂製の担体*1を用いて排水を浄化する「担体嫌気処理*2プロセス（バイオセーバー® TK）」が、2014年6月、一般社団法人 日本産業機械工業会が主催する「第40回優秀環境装置表彰事業」において「経済産業大臣賞」を受賞しました。

当社は、嫌気性処理分野において、食品工場・ビール工場といった高濃度の有機排水の処理装置を数多く納入してきましたが、低濃度の有機排水や化学系の排水など、これまで適用が難しかった分野のニーズにも対応すべく、2011年に「バイオセーバー® TK」を商品化しました。本装置は、好気性処理*3と比べて電力使用量を約1/2に、廃棄物発生量を約1/4にすることが可能です。

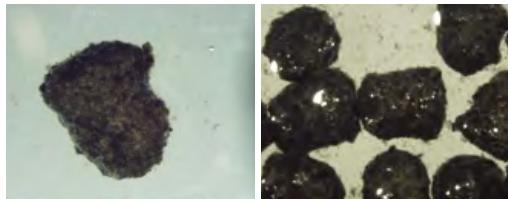
販売開始以降は、食品・飲料・液晶・化学など多岐にわたる産業で納入実績を拡大し、適用先は海外にも広がっています。

優秀環境装置表彰事業は、環境保全技術の研究・開発ならびに優秀な環境装置の普及・促進を目的に、6カ月以上、順調に稼働している装置を対象として表彰するものです。当社では今回の受賞を励みとして、幅広い排水処理ニーズに対応できる嫌気性処理技術を活かし、お客様の「水と環境」に関する課題解決をさらに推進していきます。

※1 担体：ほかの物質を固定する土台となるもの

※2 嫌気(性)処理：排水に含まれる有機物の分解に、酸素を必要としない微生物を用いた処理

※3 好気性処理：排水に含まれる有機物の分解に、酸素を必要とする微生物を用いた処理



「バイオセーバー® TK」に用いられる樹脂製の担体。表面に嫌気性微生物が付着している

ボイラ水処理向け スケールの分散効果と除去効果を併せ持つ多機能ポリマー素材「ドリームポリマー®」を開発

ボイラ水処理において、従来の、スケール*成分を分散させて付着を防止する効果に加え、付着したスケールを除去する効果を併せ持つ多機能ポリマー素材「ドリームポリマー®」を開発しました。

近年は、機能を向上させた高効率ボイラの普及に伴い、ボイラ設備に対するきめ細かい維持・管理が必要になってきました。しかし、これまでのボイラ水処理は、分散効果がある薬品とは別に、スケール除去剤を併用する必要があり、一種類で処理が完了する薬品に対するニーズが高まっていたいました。

このたび開発された「ドリームポリマー®」は、ボイラ内のスケール成分を効果的に分散させるだけでなく、スケールが付着してしまった場合でも、素早く除去することが可能です。これにより、ボイラ内は常に清浄な状態に保たれ、高効率ボイラの性能維持や安定運転の実現が可能となり、お客様の省エネルギーに貢献します。

当社では「ドリームポリマー®」を配合したさまざまなタイプの水処理薬品をラインナップし、国内外での販売を促進することで、ボイラ水処理市場での事業展開をさらに強化していきます。

※スケール：ボイラ内に付着した、カルシウム塩やマグネシウム塩などの硬度成分やシリカなどの堆積物。ボイラの伝熱効果を低下させ、さまざまな障害の原因となる。



スケールが付着した蒸発管

スケールがない清浄な蒸発管

会社概要 (2014年9月30日現在)

商号	栗田工業株式会社 (Kurita Water Industries Ltd.)
本社所在地	東京都中野区中野四丁目10番1号 中野セントラルパークイースト
設立年月日	1949年7月13日
資本金	134億5,075万円
従業員数	1,556名 (連結 4,755名)
ホームページアドレス	http://www.kurita.co.jp/

取締役および監査役 (2014年6月27日現在)

代表取締役社長	中井 稔之
代表取締役常務	梶井 馨
常務取締役	飯岡 光一
常務取締役	伊藤 潔
取締役	名村 生人
取締役	黒川 洋一
取締役	兒玉 利隆
取締役	山田 義夫
取締役	門田 道也
取締役	中村 清次
監査役	葛生 知明
監査役	林 史郎
監査役 (非常勤)	宇多 民夫

(注) 1. 取締役のうち、中村清次は会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
2. 監査役のうち、葛生知明および宇多民夫は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

グループネットワーク

国内	当社および子会社28社の合計29社で構成されており、全国を網羅する販売・サービス網により、水処理に関する商品・技術・サービスを幅広く提供しています。
海外	子会社12社および関連会社1社の合計13社で構成されており、グローバル事業の拡大に向けて世界各地域で事業を展開しています。

本株主通信に関するお問い合わせ先 経営企画室 企画部 広報課
TEL. 03-6743-5007
http://ir.kurita.co.jp/

株式の状況 (2014年9月30日現在)

発行可能株式総数 531,000,000株
発行済株式の総数 119,164,594株
株主数 30,361名

大株主 (2014年9月30日現在)

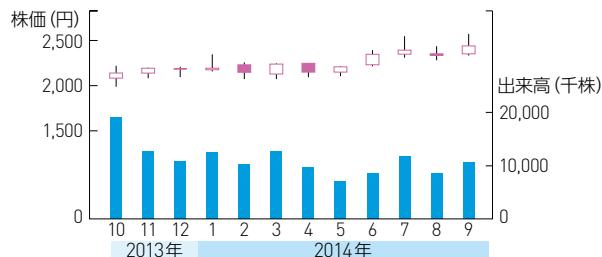
株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
日本生命保険(相)	6,160,283	5.16
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	5,701,100	4.78
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニー レギュラーアカウント	4,569,000	3.83
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	2,731,200	2.29
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	2,625,800	2.20
ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー リユーエス タックス エグゼンプテド ベンション ファンズ	2,550,600	2.14
東京海上日動火災保険(株)	2,328,226	1.95
(株)三菱東京UFJ銀行	2,056,131	1.72
RBC IST 15 PCT LENDING ACCOUNT	2,053,389	1.72
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	1,842,431	1.54

所有者別株式分布状況 (2014年9月30日現在)

	持株数 [※] (千株)	持株比率 (%)
金融機関	33,808	28.4
証券会社	1,670	1.4
その他国内法人	10,312	8.7
外国人	58,195	48.8
個人	15,175	12.7
自己株式	1	0.0
合計	119,164	100.0

※千株未満を切り捨てて表示

株価および出来高の推移



株主インフォメーション

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
利益配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日 (中間配当を行う場合)	9月30日
基準日	3月31日 (そのほか臨時に必要があるときに あらかじめ公告いたします。)

株主名簿管理人および 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株
公告方法	日本経済新聞に掲載
証券コード	6370

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定について

証券会社の口座に当社株式が記録されている株主様

▶ お取引先の証券会社へお問い合わせください。

特別口座に当社株式が記録されている株主様

▶ 当社特別口座管理機関の**三井住友信託銀行**へお問い合わせください。

未払配当金の支払について

まだ受け取られていない配当金がある場合は、お早めに**三井住友信託銀行**にお問い合わせください。

配当金計算書について

「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告の添付資料としてご使用いただけます。

- ◆ **株式数比例配分方式**をご選択いただいている株主様
源泉徴収税額の計算は証券会社にて行われます。確定申告の添付資料につきましては、お取引先の証券会社にご確認ください。
- ◆ 「**配当金額領収証**」にて配当金をお受取りの株主様
配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封しております。

株主名簿管理人・特別口座管理機関へのお問い合わせ

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

代表電話 フリーダイヤル

0120-782-031 (受付時間：平日9:00～17:00)



この冊子は、適切に管理された森林由来のFSC®認証紙に、植物油インキを使用して印刷しています。